授業づくり研修講座　実践レポート

相模野小学校　田中　克憲

第一学年

**１．テーマ**

・自分の考えを書くことを通して表現する。

国語科「あいしているから」

**２．単元目標**

・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

**３．実践内容（成果）**

○国語の読み物教材を通して、本文の内容から問いを見つけ、教科書の叙述に基づき自分の考えをノートに書いた。

○授業回数を重ね、自分の意見をペアの児童と発表させたり全体交流で他の児童の発表を聴いたりし、再考することで書く量が増えてきた。

○内容にも変化が見られた。自分の考えを発表し、話し合うことで読みが深まり、自分の考えを文章に詳しく表すことが出来る児童も出てきた。また、自分の考えをたくさん書くことができる児童が増えてきた。

（授業が終わると、ノートを集めコメントを書いた。書かれている考えに対して、認めたり、褒めたりする肯定的なコメントを書いた。そうすると、次時の自分の考えを書く時間では、集中して書いている子や教科書を読み返しながら書いている児童が増えた。また、考えて書いていることで自分の考えに自信が持て、発言なども増えた。国語の授業では、作文指導を行った。書き方や表現方法、原稿用紙の使い方などを指導しました。夏休みの思い出、運動会、遠足、説明文などを書いた。さらに、演劇鑑賞会の感想や観察カード、図工の鑑賞、お礼のお手紙など書く経験を増やした。書く経験が増えていくことで書くことへの抵抗感がなくなり、楽しんで書いている児童や読んでもらうことを楽しみに書いている児童が増えたように感じる。）

授業でのAさんの考え

○愛しているから小鳥を離してあげたくないと思いました。

↓

○小鳥を見に来たら散歩にモール君を連れて行きたくなったから行ったんだと思います。

↓

○遠くの野原に行って小鳥が空を飛ぶってわかったから、そのまま地下室の鳥かごの中で飛べなくなったらかわいそうだから、離してあげたんだと思いました。

↓

○小鳥が飛び回っていて安心したから温かい気持ちが伝わったんだと思います。

　**４．振り返り（課題）**

　自分の考えた意見や作文などを認められたり、文章を書く経験が増えていったりすることで自信につながっているのだと思う。しかし、小学校１年生では語彙が少なく、自分の意見や考えをうまく表現できずに悩んでいる児童が見られた。また、書かれた文章を見ると言い回しが逆になっていたり、言葉が足りずに意味がよく分からない文章になっていたりする児童もいた。これからの課題としては、語彙力を増やしていくこと。作文では、言い回しや文書表現について訂正を入れて直してあげる必要がある。